

<アスパラガスの栽培ごよみ(初年度)> 栽培記録は必ず記帳すること！

時 月	期 旬	作 業	防 除 体 系			
			対象病虫害	薬剤と濃度(収穫前日数と総使用回数)	水100ℓ当り薬剤量	10a当り散布量
2	上・中	播種(セルトレイ) 育苗中防除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ダコニール1000 1,000倍 (前日まで4回以内)	100mℓ	
3	中	育苗中防除	茎枯病・立枯病	トップジンM水和剤 1,000倍 (7前日まで5回以内)	100mℓ	
4	上	雑草対策	一年生雑草	ラウンドアップマックスロード (耕起前・雑草生育期1回以内)	500mℓ	100ℓ
5	中	定植				
	下	防除	茎枯病・斑点病 アブラムシ類・ネギアザミウマ	Zボルドー 500倍 ダントツ水溶剤 2,000倍 (前日まで3回以内)	200g 50g	100ℓ 100ℓ
6	上	防除	茎枯病	ベンレート水和剤 2,000倍 (前日まで4回以内)	50g	100ℓ
	中	防除	茎枯病・斑点病・褐斑病 ハスモンヨトウ・ネギアザミウマ	ロブラール水和剤 2,000倍 (前日まで5回以内) プレオフロアブル 1,000倍 (前日まで2回以内)	50g 100mℓ	100ℓ 100ℓ
	下	防除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (前日まで3回以内)	33g	100ℓ
7	上	支柱立て 防除	茎枯病・斑点病・褐斑病 タバコナジミ蝶・アザミウマ類	ダコニール1000 1,000倍 (前日まで4回以内) アベンジャーフロアブル 2,000倍 (前日まで2回以内)	100mℓ 50mℓ	200ℓ 200ℓ
	中	防除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ロブラール水和剤 2,000倍 (前日まで5回以内)	50g	200ℓ
	下	防除	茎枯病 アザミウマ類・ハスモンヨトウ	ベンレート水和剤 2,000倍 (前日まで4回以内) ディアナSC 2,500倍 (前日まで2回以内)	50g 40mℓ	200ℓ 200ℓ
8	上	防除	茎枯病・斑点病・褐斑病 タバコナジミ蝶・アザミウマ類	ダコニール1000 1,000倍 (前日まで4回以内) アベンジャーフロアブル 2,000倍 (前日まで2回以内)	100mℓ 50g	300ℓ 300ℓ
	中	防除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ベルコート水和剤 1,000倍 (7前日まで5回以内)	100g	300ℓ
	下	防除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ダコニール1000 1,000倍 (前日まで4回以内)	100mℓ	300ℓ
9	上	防除	ハスモンヨトウ・アザミウマ類 茎枯病・斑点病・褐斑病	カスケード乳剤 4,000倍 (前日まで2回以内) ロブラール水和剤 2,000倍 (前日まで5回以内)	25mℓ 50g	300ℓ 300ℓ
	中	防除	茎枯病・斑点病	Zボルドー 500倍	200g	300ℓ
	下	防除	茎枯病・斑点病・褐斑病	ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (前日まで3回以内)	33g	300ℓ
10	上	防除	茎枯病・斑点病	Zボルドー 500倍	200g	300ℓ
	中	防除	茎枯病・斑点病	Zボルドー 500倍	200g	300ℓ
			ハスモンヨトウが発生した場合、フェニックス顆粒水和剤を散布する(9～10月)。 茎葉が完全に黄変したら刈取り、ほ場から搬出し、適正に処理する。 ハダニが発生した場合コロマイト乳剤(ハウス栽培)を散布する。			
11	上	茎葉刈取り				
	中	野そ駆除	野そ	メリーネコりん化亜鉛		1か所当り1～5g

※対象病虫害の欄に〔 〕がある農薬は混用事例あり

●…種まき ○…植えつけ ■…収穫

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
露地普通栽培					■								ゼンユウガリバー

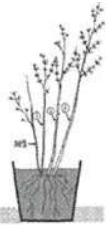
作 業 の 要 点

1. ほ場準備

- 排水性のよいほ場を選び、基幹排水溝を掘り、水戸尻までしっかりつないでおく。
- 耕起前に牛糞堆肥を10㎡以上散布し、深耕ローターなどを利用し少なくとも30cm以上耕す。
- 基肥施用後再耕起し、条間200cmのうね立てをする。
- マルチをかける時は、土壌温度が高く水分がややある状態で行う。

2. 育 苗

- (1)128穴セルトレイへの播種:128穴セルトレイ 15枚 育苗用床土(スーパーヤッシー) 2袋
- ・10a当り1ℓ程度の種子を用意し、3～4日間水に浸漬してから128穴セルトレイに播種
- ・発芽まで、昼夜とも25～30℃を確保し、短期間で発芽させる。その後は、日中25℃程度、夜温15℃以上を目安にハウス内の換気と保温を行う。
- ・播種後30日頃、液肥(やさい燐加安S540の1000倍液)をセルトレイに1ℓ程度施用する。
- (2)9cmポットへの移植:ポリポット 1500個 育苗用床土(スーパーヤッシー) 10袋
- ・セルトレイに播種後40日程度、茎が2～3本伸び、擬葉が展葉する前に鉢上げを行い1ポット当りIB化成S1号を2粒入れる。



定植苗

3. 標準施肥量 (kg/10a)

肥 料 名	総量	基 肥	
		全 層	う ね
牛 糞 堆 肥	10㎡	6㎡	4㎡
苦 土 石 灰	150	150	
よ う り ん	100		100
I B化成S 1 号	60		60
鮮 菜 2 0 0	50		50



【防除機】

【焼却用バーナー】

【堆肥散布機】

専用機械の共同利用(JA貸出)

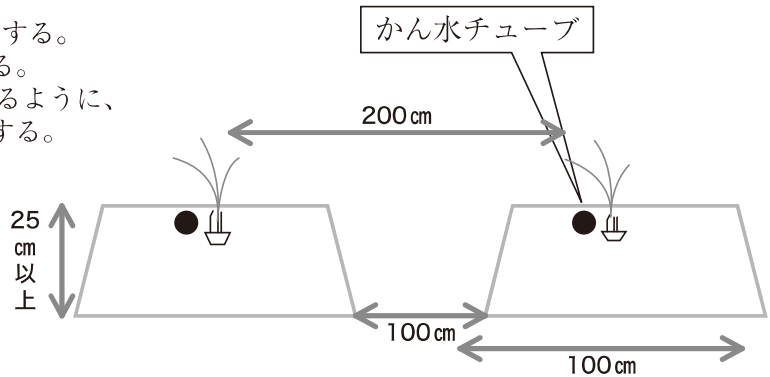
4. 定 植

- 株間35～40cm 1,200～1,500本/10aとする。
- ・ほ場の排水性に応じて25cm以上の高さのうねを作り、定植年だけは、除草の省力化や乾燥防止のため、株元にかん水チューブを置き、その上に黒ポリでマルチする。
- ・植付深さは、覆土3～5cmの深さにする。
- ・定植直後に株元に十分にかん水する。

5. か ん 水:地下10cm程度が適度に湿るように、かん水チューブでかん水する。

※かん水の日安(晴天が続く場合)

月	間 隔
6月	3～4日に1回
7～8月	2～3日に1回
9月	3～4日に1回
10月以降	7日に1回



6. 倒伏防止

- 支柱を立ててビニールバンド又はアスパラネットを張り、倒伏を防ぐ。
- ・最初は30cmの高さに張り、茎が伸びてきたら、100cmに張る。
- ・短い茎は、地際から刈り取る。

7. 防除対応

- ・乳剤以外の剤を散布する際には展着剤(クミテンもしくはマイリノー)を加用する。

8. 雑草対策

- ・うね間に雑草が発生した場合、プリグロックスL(前日まで3回以内、600～1000mℓ/10aを水100～150ℓに希釈)をアスパラガスにかからないように注意して散布する。

※アベンジャーフロアブル、プリグロックスLの引渡しには、印鑑が必要。